



# 地域住民や各種団体が集まり

地域コミュニティのあり方検討委員会

# 沼田市地域コミュニティのあり方ビジョンを作成しました

## 持続可能な暮らしを実現するために

人口減少や高齢化が急速に進展する中でも、住み慣れた地域ですっと暮らし続けるために、令和3年度より地域づくりモデル地区（利南、池田、薄根および川田地区）が活動を継続しています。

その活動を参考に、モデル地区の参加者や社会福祉協議会など各種団体から推薦された委員20人が地域の課題解決に向けた話し合いを行い、報告書としてまとめました。 報告書は市HPに掲載 [1012291](#)

## 1 地域づくりモデル地区の活動経過

R3- 座談会で出された地域の人たちの意見をもとに、取り組みを継続中です



### 利南地区

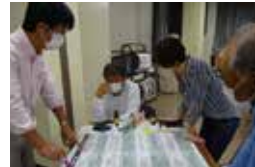
「となみらいネットワーク」結成  
地域を知って、地域をつなげよう



- ・広報活動の強化、SNS活用
- ・地域マップ作成
- 地域を歩いて地域を知ろう！

### 池田地区

地域づくりの羅針盤  
地域のビジョン（将来像）作成へ



- ・団体役員アンケートや意見交換会
- ・今後の組織のあり方を検討
- ・地域づくり計画のイメージ作成

### 薄根地区

未来志向の地域づくりを  
子どもの未来（組織見直し）・地域の資源（知る+伝える）



- ・育成会についてアンケート実施
- ・ITを活用した広報活動の検討
- ・地域資源の掘り起こしなど

### 川田地区

川田地区がつながるような交流を  
多世代が集まる「卓球教室」を開始

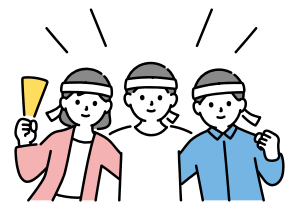


- ・体育館で卓球教室を開催し人が自然にふれあう場づくり
- ・意見交換会の実施

地域住民や各種団体から推薦された委員20人が参加

## 2 検討委員会の様子

R4.8-11: モデル地区、各団体などの取り組みを参考に、意見交換を行いました



- ・人口減少や高齢化が急速に進む中であっても、地域の組織は昔からの体制が見直されていない
- ・役員のなり手がなかなか見つからず、同じ人が何役も掛け持ちするなど負担感がある
- ・DV・虐待・引きこもりなど幅広い世代にさまざまな問題がある中、それを把握する仕組みがない
- ・今までの会議は、自由な発言がはばかられ、若い世代が参加したがないことが多い など

